

日本経済新聞

土曜版

NIKKEI

2018年 11月17日 土
(平成30年)

IoTセンサー開発

インディゴ、500万円調達

かおくから
FG系から

あらゆるものがネットにつながる「IoT」スタートアップ企業、IndyGo（インディゴ、福岡市）は16日までに、

ふくおかフィナンシャルグループ（FG）傘下のFFGベンチャービジネスパートナーズ（FVP、福岡市）から5000万円の出資を受けた。「コイン」と呼ぶセンサーの生産体制や人員の増強に充てる。

事業開発の段階（シードラウンド）での調達で、インディゴが実施した第三者割当増資をFVPが引き受けた。

インディゴは新通信規格「ブルートゥース5.0」に対応したセンサーの開発に強みを持ち、2014年に創業した。セ

ンサー同士がつながる「メッシュネットワーク」と呼ぶ技術を使い、電力の消費や費用を抑えながら大容量のデータをやり

とりできる「コイン」の開発を手掛けている。

「コイン」は温度や湿度、振動などを検知でき、工場や倉庫といった場所での活用が期待できる。

「既に複数の大手企業から引き合いがある」（クマール・ラジェッシュ社長）といい、調達資金で生産体制を整える。